

## JRグループ労組連絡会 2022 春闘総決起集会を開催



2月10日、JRグループ労組連絡会は、大阪市「TKP ガーデンシティ大阪リバーサイド」をメインとする5会場をオンライン会議システムで繋ぎ、2022春闘総決起集会を開催し、JR貨物連合から、小早川副会長（中国ロジ労組）・山田事務局長（南関東ロジ労組）・小山事務局長（貨物鉄産労）が出席をしました。長期化するコロナ禍によって、JR産業は壊滅的なダメージを受けています。

JR貨物グループでは実施されていませんが、雇用調整金を活用した一時帰休や雇用調整を目的とした在籍出向が未だ継続実施され、さらには年末一時金についても大幅減額されるなど、まさにJR産業全体が雇用と生活の不安に覆われ、目下、将来を不安視する若年層を中心に離職が進行し、人材流出は喫緊の課題となっています。

そうした状況下で迎える2022春季生活闘争は、強固な団結のもと、加盟全単組（JR産別7単組・グループ92単組）が「未来志向」「ONE TEAM」で、今次闘争を戦い抜く決意を固めました。

### 《2022 春季生活闘争の基調》

- JR産業に「安心」を取り戻すべく、「ONE TEAM」で春季生活闘争に臨む
- 月例賃金にこだわった処遇改善の取り組み、あらゆる「人材への投資」を実現する
- 急速な社会変容と向き合い、意欲と能力の発揮を可能とする働き方を実現する
- JRグループ内における格差是正・労働条件の底上げを実現する

### ＜具体的な要求内容＞

- (1) 年度初における定期昇給の完全実施を求めます。なお、定期昇給制度が確立されていない単組は、制度の確立と併せ、定期昇給相当分（5,000円）の確実な確保を求めます。
- (2) その上で、総合生活改善や格差是正の観点に立って、賃金をはじめとする労働諸条件の改善原資として、月例賃金総額2%相当分を求めます。そのうち、1,000円を目安に純ベア統一要求を行います。
- (3) 要求方式は、平均賃上げ方式と個別賃上げ方式の併用とします。
- (4) 純ベア要求以外の諸労働条件改善要求について、各単組は手当偏重型の賃金制度改善や柔軟な就労環境の整備に資する要求項目を盛り込むこととします。

**JR社員のみならず、  
JRグループ会社の社員、  
退職後も利用できる、開かれた共済。**

病気、交通事故、火災、地震・・・など、偶然の事故に備えて仲間（組合員）が掛金を出し合い、いざという時に助け合うのが共済です。集められた掛金は、共済金等の支払と事業運営に充てられ、剰余となる部分は、割戻金として組合員の皆さまに還元しています。



みんなで暮らしをガード  
交通共済（JR職域生協）  
全国交通運輸産業労働者共済生活協同組合

